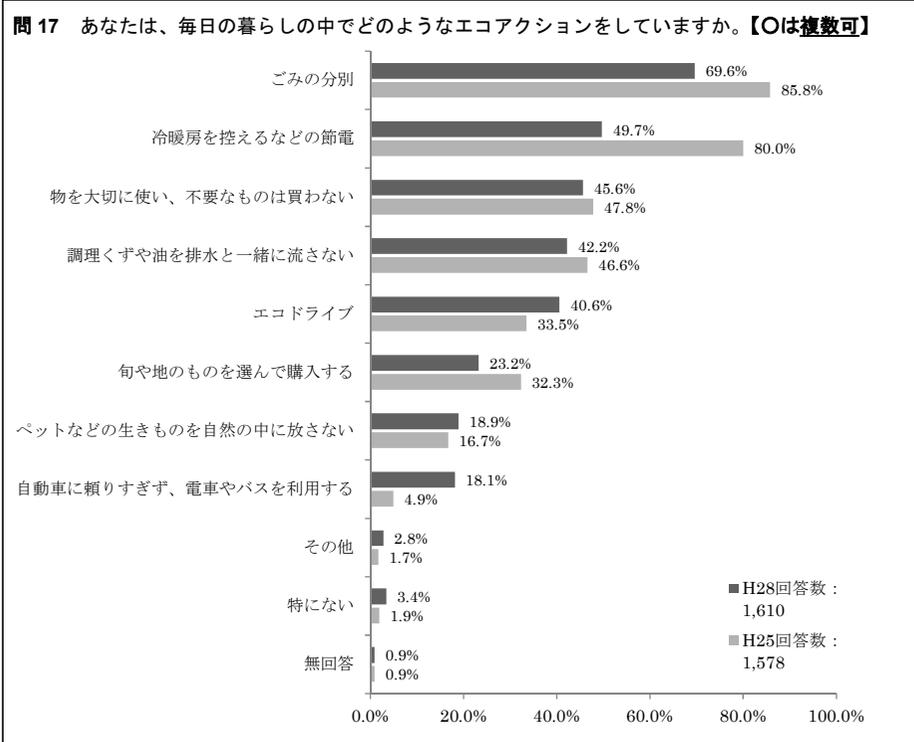


平成28年度実施アンケート結果

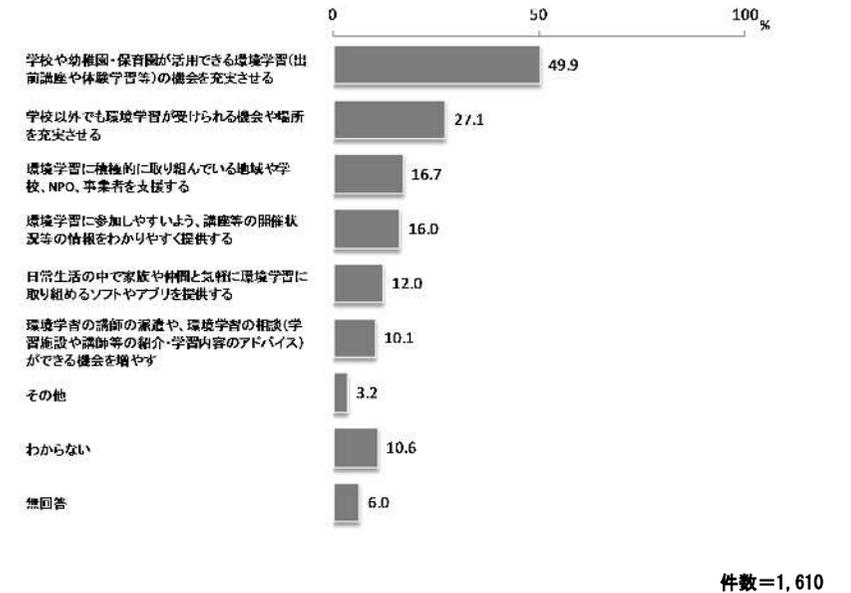
1 県民（県政世論調査）



毎日の暮らしの中でエコアクションに取り組む人の割合は、H25 調査結果(97.2%)をわずかに下回ったものの、95.7%と高い割合となった。

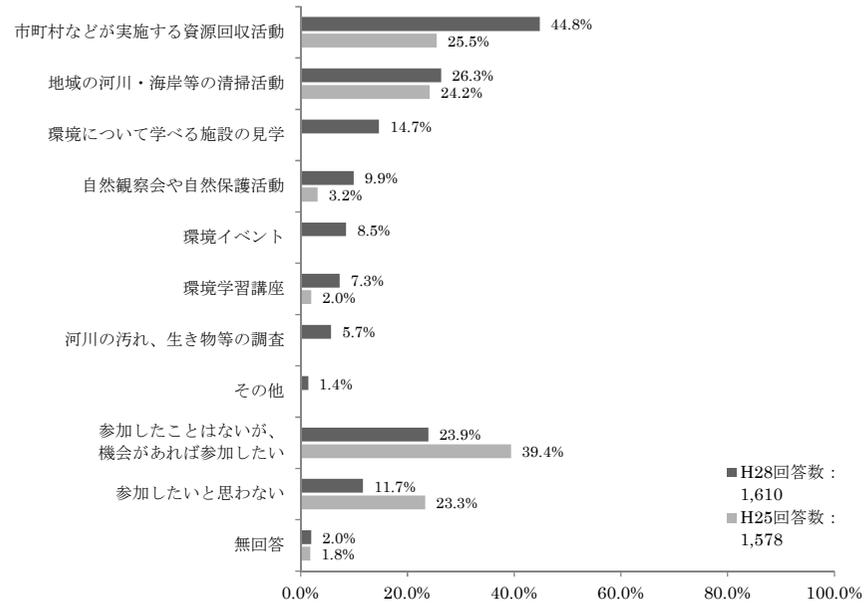
個々の選択肢を見ると、「自動車に頼りすぎず電車やバスを利用」といった利便性を犠牲にするようなエコアクションは実践率が低い傾向がある。

問 18 エコアクションを実践する人を増やすためには、環境学習が重要です。あなたは、環境学習について愛知県が重点的に取り組むべきことは何だと考えますか。【〇は2つまで】



愛知県が取り組むべき環境学習について、「学校や幼稚園・保育園が活用できる環境学習の機会を充実させる」と答えた人の割合が49.9%と最も高く、続いて「学校以外でも環境学習が受けられる機会や場所を充実させる」(27.1%)、「環境学習に積極的に取り組んでいる地域や学校、NPO、事業者を支援する」(16.7%)の順になっている。

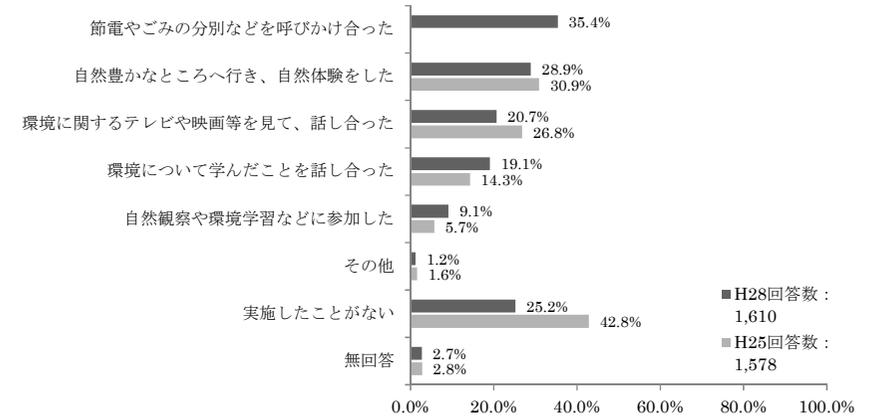
問 19 一人一人が環境を大切に思う心を持ち、環境に配慮した行動へつなげていくためには、環境学習や環境保全活動に参加していくことが重要です。
あなたはこれまで、次のうちどれに参加したことがありますか。【〇は複数可】



環境学習や環境保全活動へ参加したことがある、又は機会があれば参加したいと思っている人の割合は増加（74.9%→86.3%）している。

H28 調査結果を見ると、「市町村などが実施する資源回収活動」は 44.8%、「地域の河川・海岸等の清掃活動」は 26.3%など地域のつながりを前提とした活動への参加は比較的高い一方、自主的参加意欲を要する活動である「自然観察会や自然保護活動」は 9.9%、「環境学習講座」は 7.3%、「河川の汚れ、生き物等の調査」は 5.7%といずれも低い水準であった。

問 20 一人一人が日常生活において環境に配慮した取組を行うためには、家族や友人等の役割が重要です。
あなたは、次のうちどれをしたことがありますか。【〇は複数可】

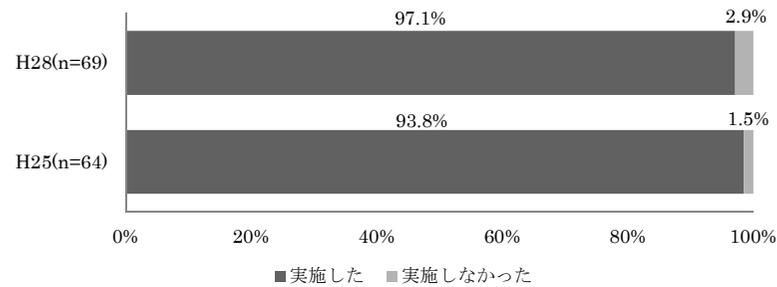


家族や友人で環境についての話し合いや環境活動への参加をした人の割合は、54.4%（H25）から 72.1%（H28）と大幅に増加しており、家庭など環境への意識の高まりが伺える。

一方、H28 調査結果からは、「自然観察の催しや環境学習などに参加したことがある」は 9.1%と、未だ一部の人々に留まっている

2 事業者

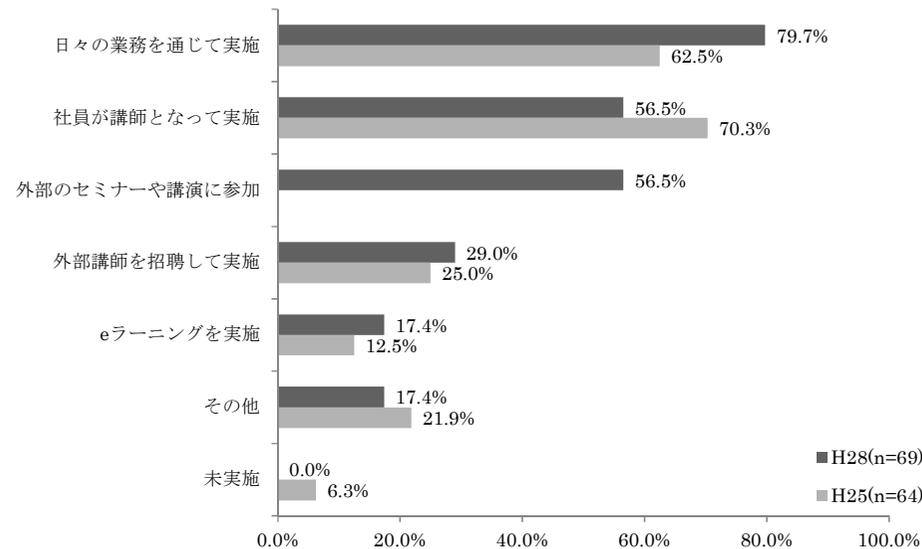
問1 サービスや情報提供などにおいて環境負荷の低減に関する取組を実施しましたか。または、環境に配慮した製品・サービスの提供を実施しましたか。



<実施しなかった理由>

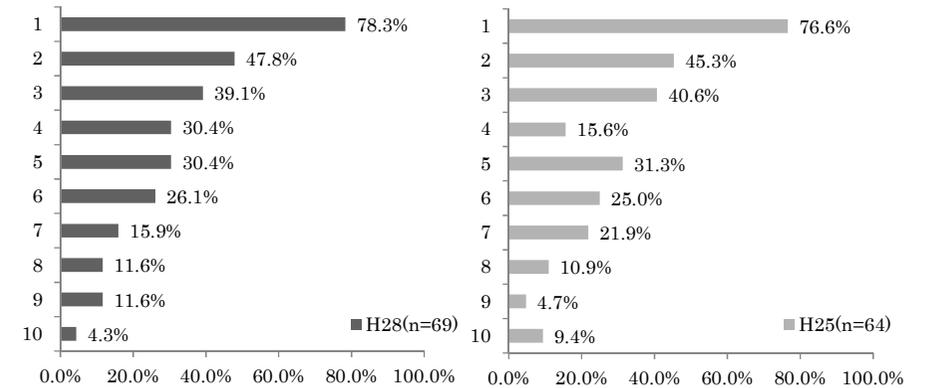
- ・卸売業のため、商品の流通とは関わり合いが少ないため。
- ・請負業のため

問2 社員教育の中でどのように環境教育を実施しましたか。



・平成25年度調査では、3「外部の団体等が行うセミナーや講演に参加した」という回答は、その他の回答のうち5件(7.8%)であった。

問3 どのような環境保全活動や環境教育を実施しましたか。



	H28	H25
1	環境美化・環境保全活動(社員のみ参加)	地域の清掃活動
2	環境美化・環境保全活動(地域住民参加)	里山保全活動・植樹活動
3	ブース出展・パネル展示	
4	自然体験・自然観察会	
5	工場等を利用した学習	
6	出前講座等の座学による環境教育	
7	NPOや地域住民への経済的支援	
8	環境保全活動の場の提供	
9	その他	
10	未実施	

※環境美化・環境保全活動：清掃活動、植樹活動、里山保全活動

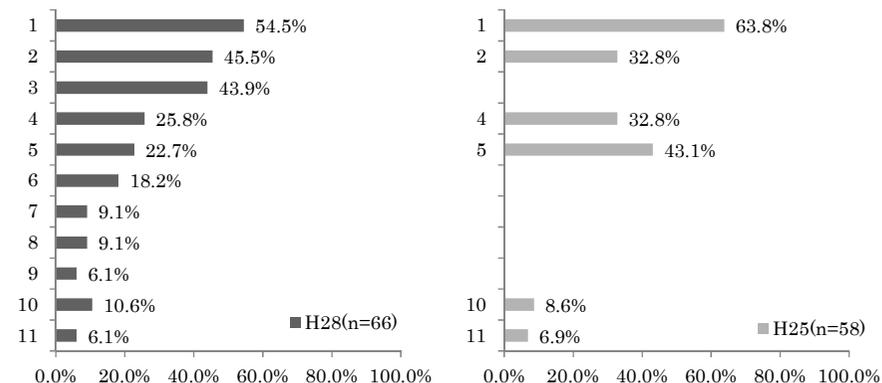
<H28 その他の内容>

- ・取引先と協働イベントの実施（リサイクル工場見学、植樹等）
- ・（一社）日本環境アセスメント協会などの活動を通じての企画・参加
- ・地元の環境保全団体等への寄付つき定期預金の取り扱い
- ・地元の高校と共同してのグリーンカーテンの設置
- ・県立自然科学系博物館への助成活動

<実施していない理由>

- ・自社に適した方策が分かれば実施したい
- ・社内のみ環境 ISO により実施

問4 環境保全活動や環境教育を実施する際、どのような主体と連携して実施しましたか。



	H28	H25
1	行政（市町村・県）	行政（市町村・県）
2	事業者（企業）	事業者（企業）
3	地域住民（子ども会、町内会等を含む）	
4	小学校	学校等
5	NPO（国際NPO・NGOを含む）	NPO（地域の専門家を含む）
6	大学	
7	中学校	
8	高等学校	
9	幼稚園・保育所・認定こども園	
10	その他	その他
11	連携・協働しなかった	連携協働しなかった

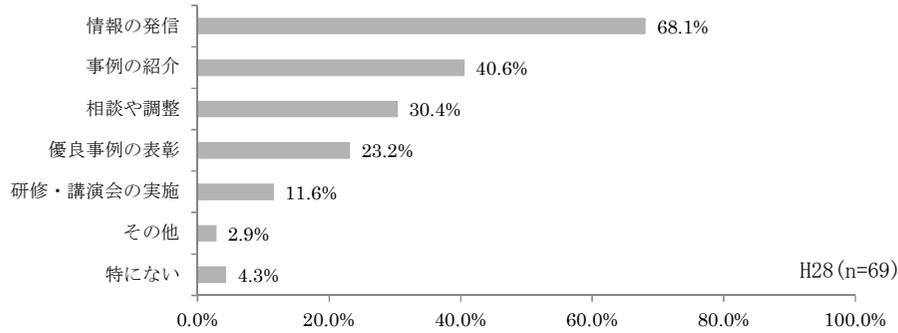
<その他の内容>

- ・工業団地組合
- ・名商 eco クラブ
- ・障がい者支援施設
- ・グループ会社
- ・庄内川災害対策協力会

<連携協働しなかった理由>

- ・活動できる人材が不足
- ・社屋近隣の清掃活動のため連携する必要がない

問5 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策

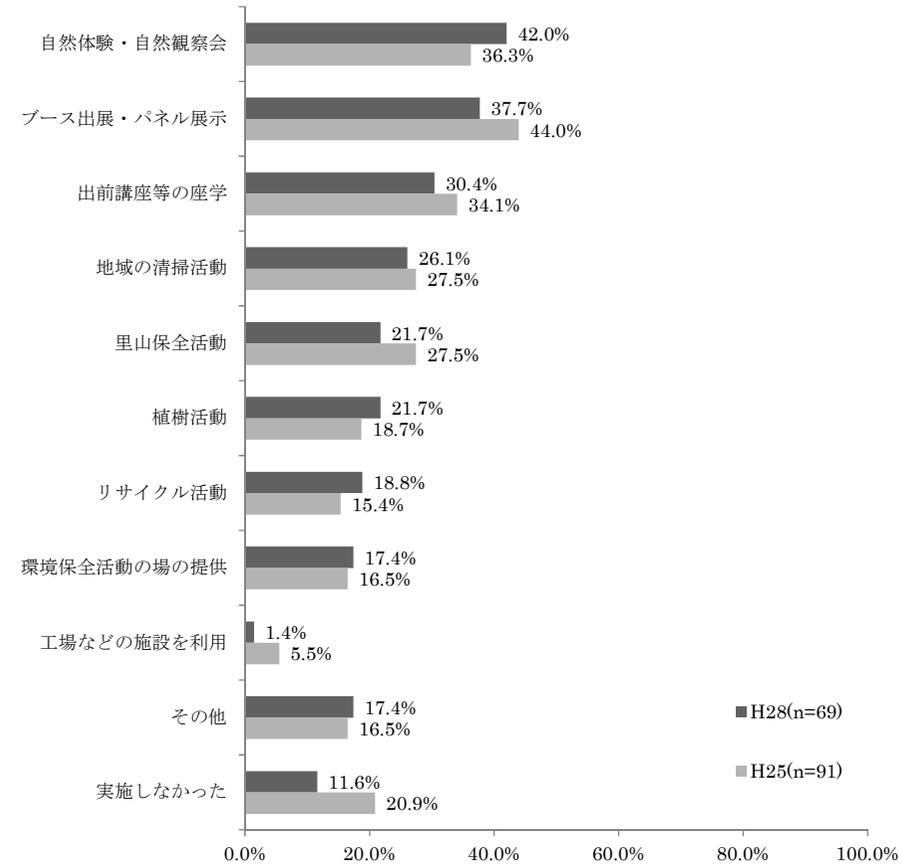


<その他の内容>

- ・地域の活動団体と連携して活動を開始する際、「お見合い」の場が必要
- ・愛知県が県民への環境の重要性への認識活動を実施

3 NPO

問1 どのような環境保全活動や環境学習を実施しましたか。



<その他の内容>

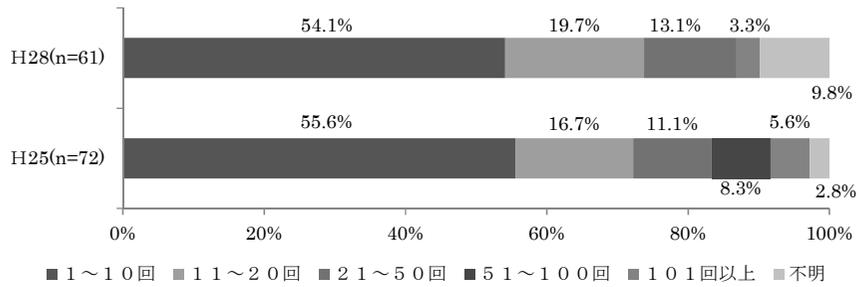
- ・原発事故被災地の支援活動
- ・遊休農地活用、農業体験農園
- ・地域の木育を目的としたイベントを開催
- ・打ち水大作戦
- ・環境経営ゲームの普及
- ・出前講座での体験型環境学習（紙すき等）

<実施しなかった理由>

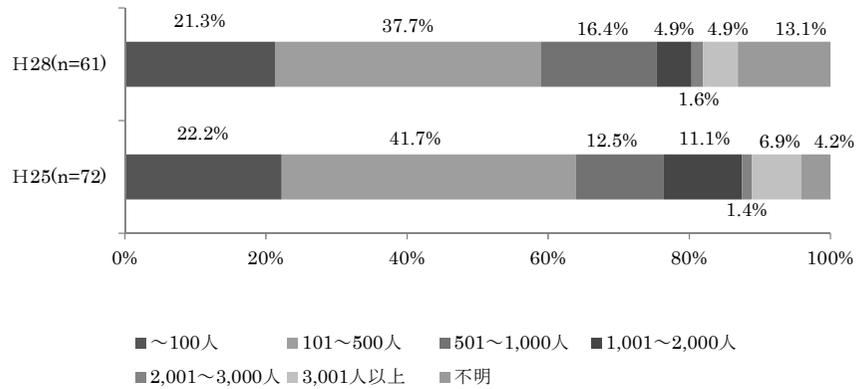
- ・他の活動に力を注ぎ環境活動については特に実施せず。
- ・定款に定める事業に含まれていない。
- ・中間支援活動に重点を置いて活動しているため
- ・時間の確保が困難

問2 環境保全活動や環境学習を何回実施しましたか。

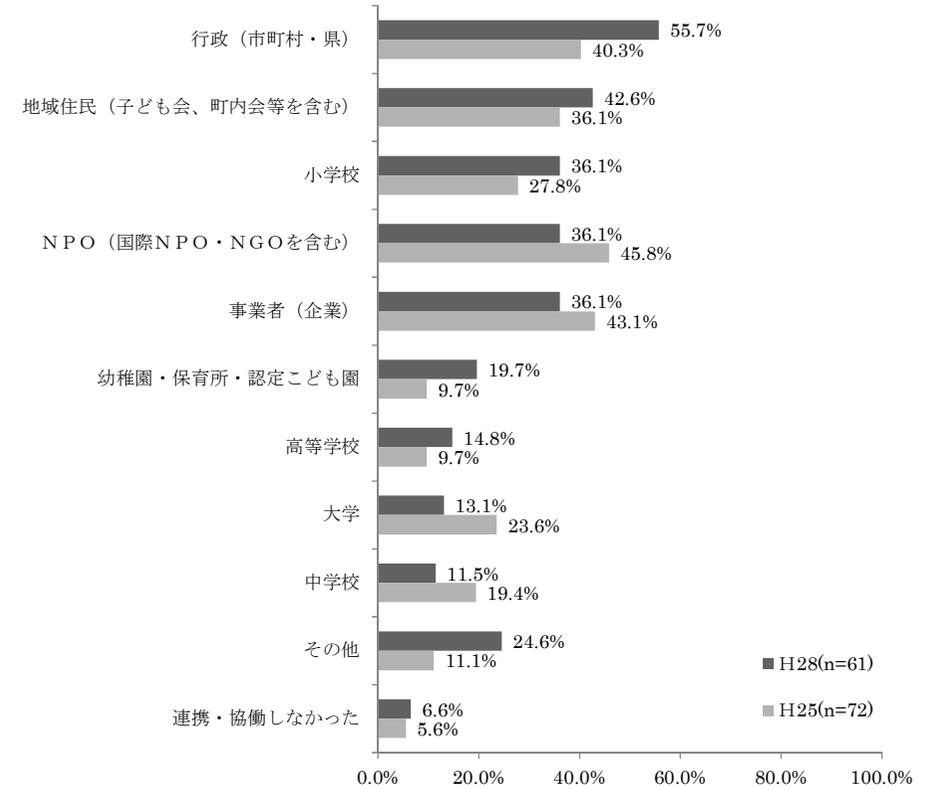
【回数】



【参加人数】



問3 環境保全活動や環境学習を実施する際、どのような主体と連携して実施しましたか。



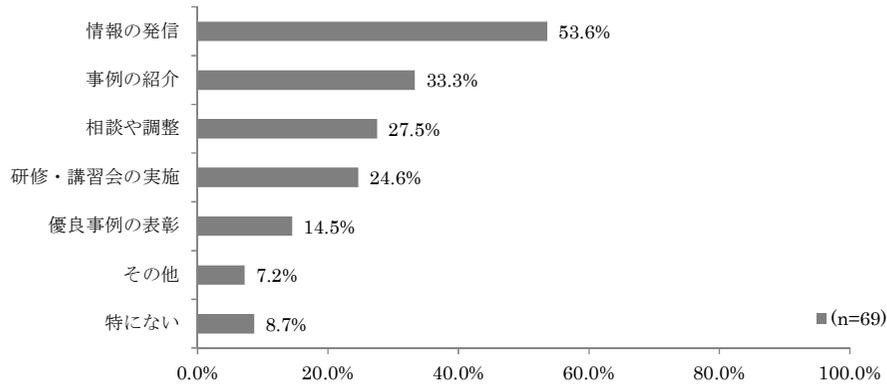
<その他の内容>

- ・市民団体、教会
- ・職業訓練機関
- ・児童養護施設
- ・山岳パトロール、自然観察員
- ・農協、青年会議所
- ・名古屋市社会福祉協議会

<連携・協働しなかった理由>

- ・独自行事として12年間実施
- ・とりあえず理事のみで実施した
- ・行政との協同する窓口を知らない

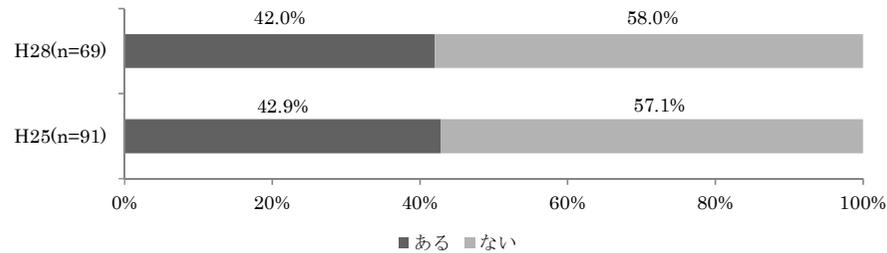
問4 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策



<その他の内容>

- ・活動に対する助成の制度をつくり、活動組織の育成を図る。
- ・環境学習の質を維持するため、学校側がきちんとした予算を確保し、学校が質の高い指導者を選ぶようにする。

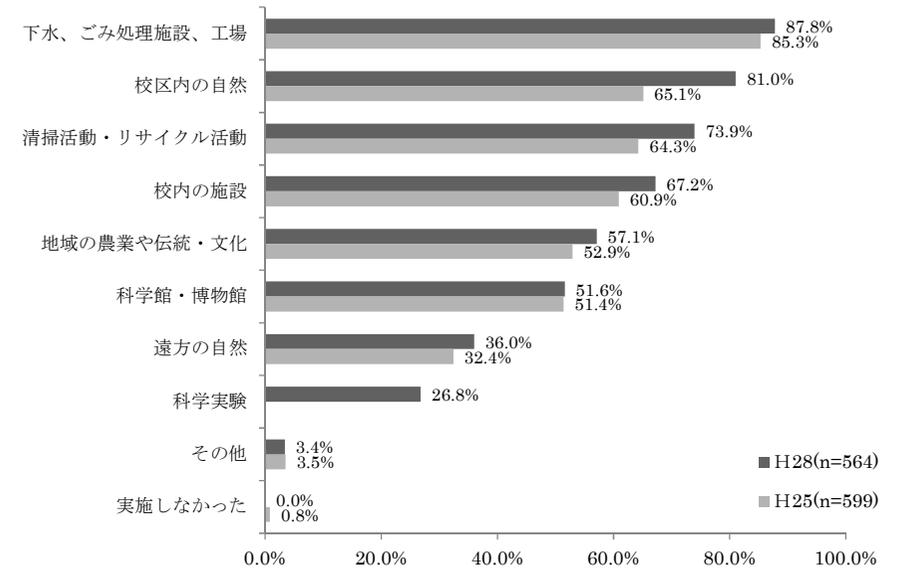
問5 コーディネーターの役割を実施したことがありますか。



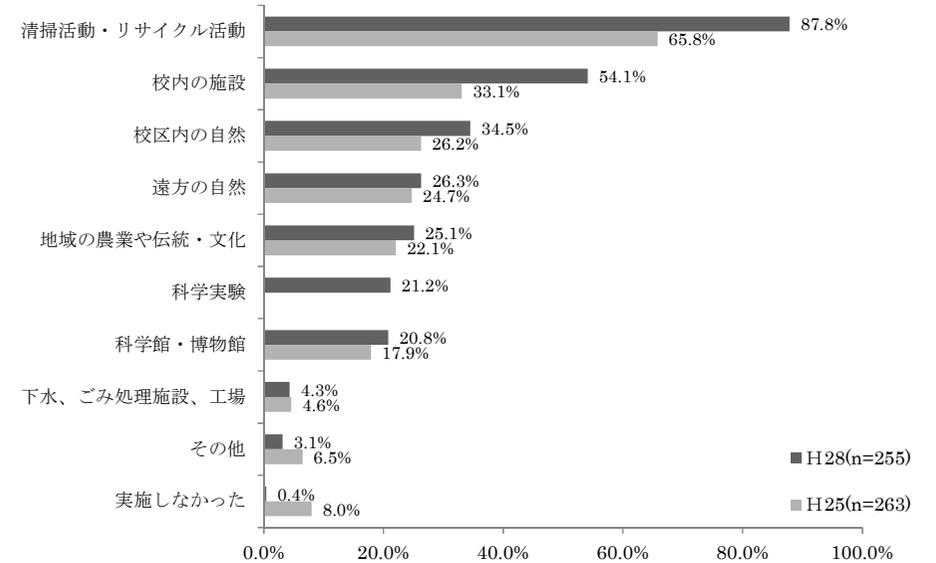
4 学校

問1 どのような実体験を取り入れた環境教育を実施しましたか。

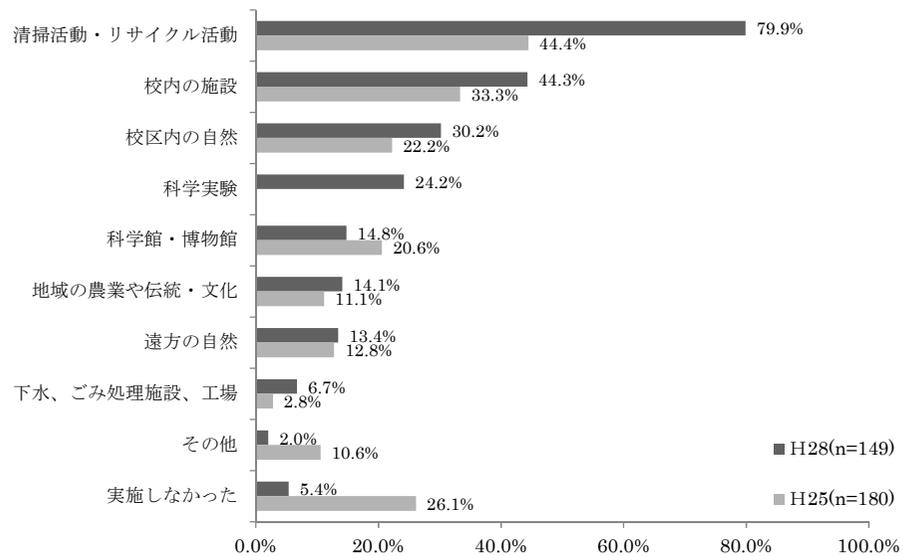
【小学校】



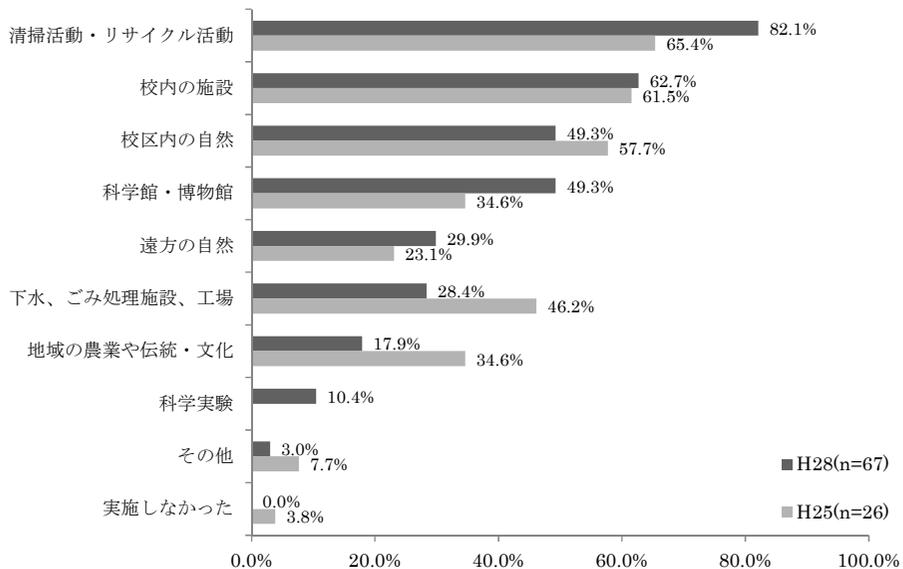
【中学校】



【高等学校】

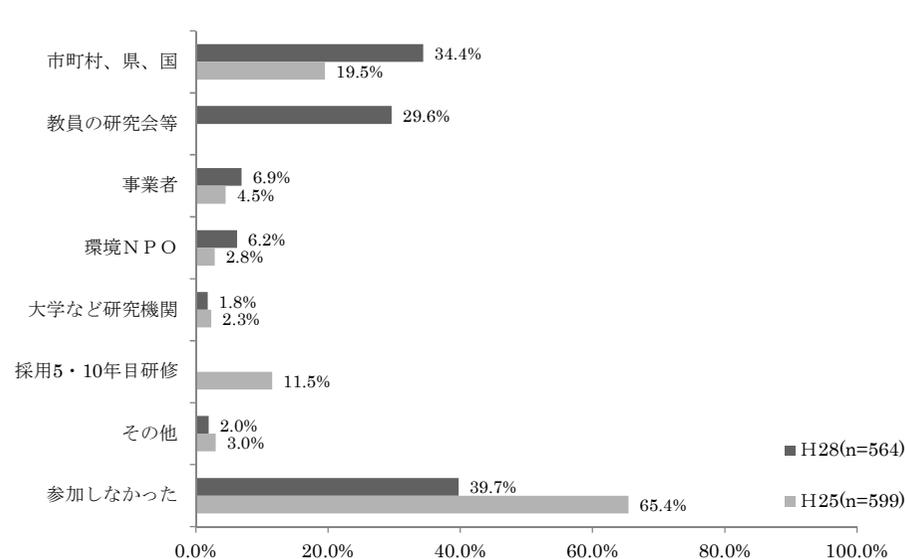


【特別支援学校】

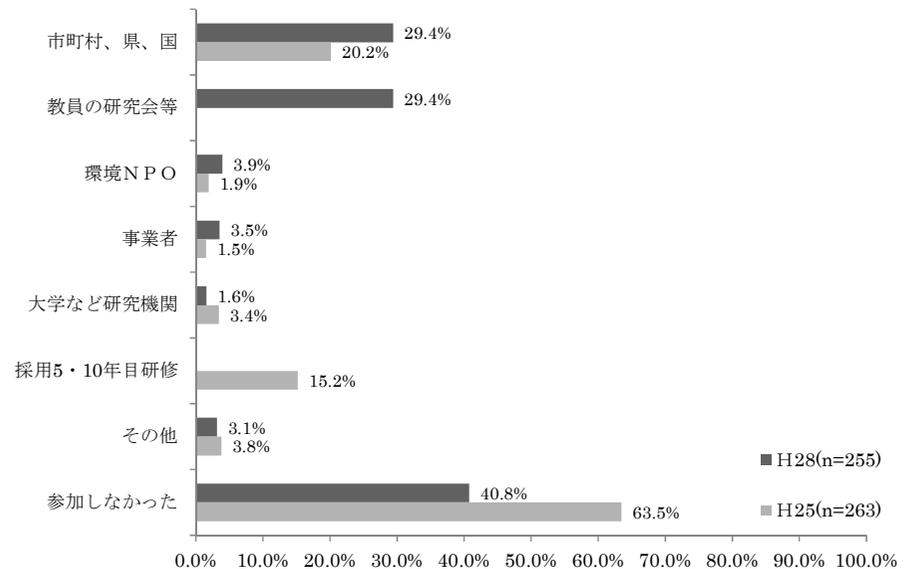


問2 どのような環境教育に関する研修等に参加しましたか。

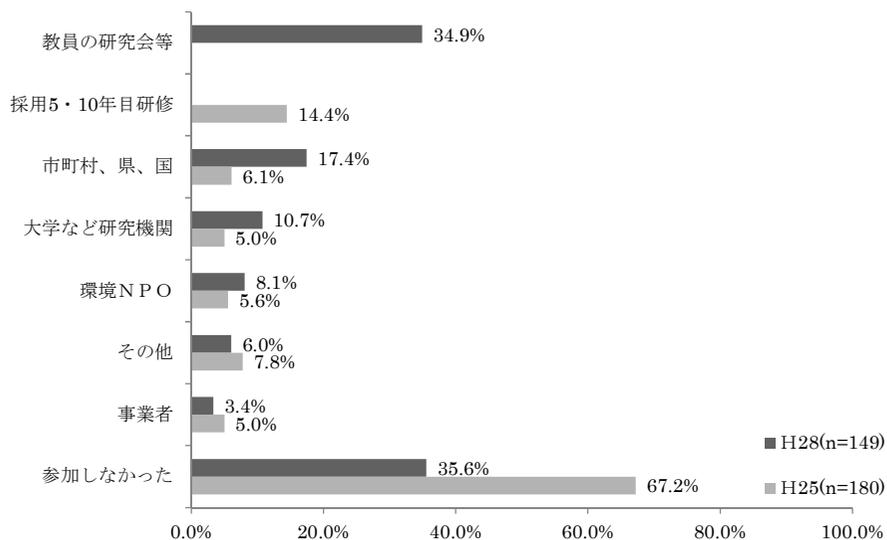
【小学校】



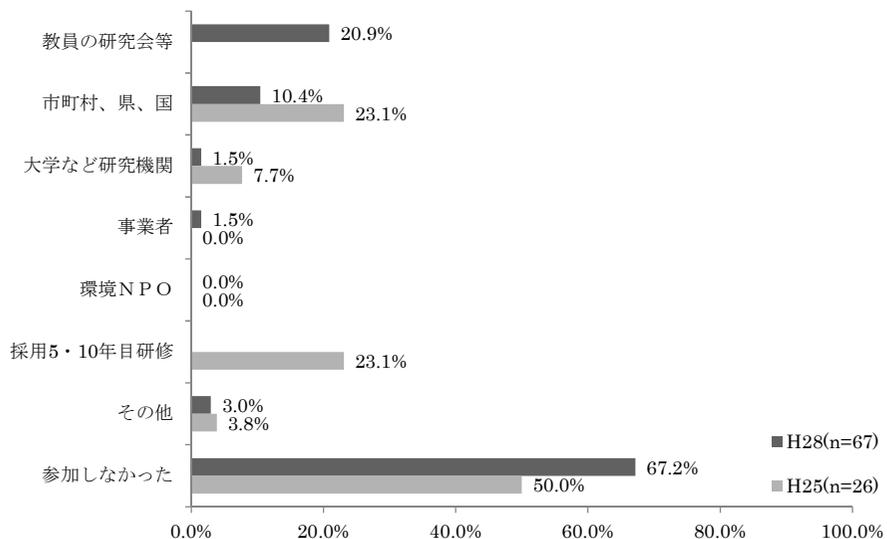
【中学校】



【高等学校】

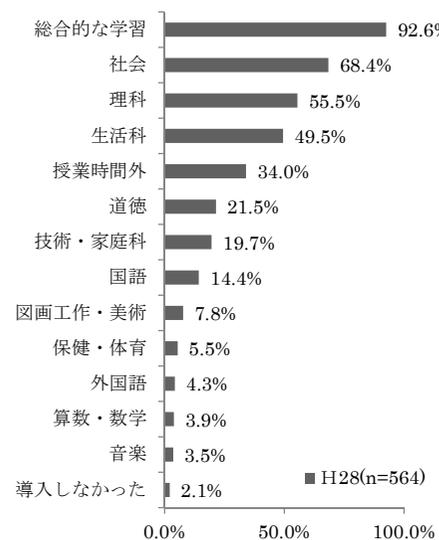


【特別支援学校】

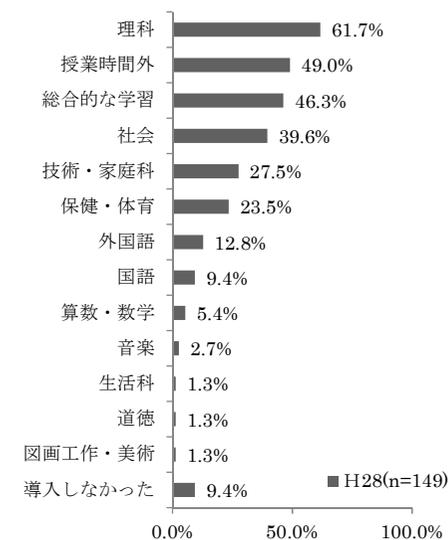


問3 どの教科でESDの視点を導入しましたか。

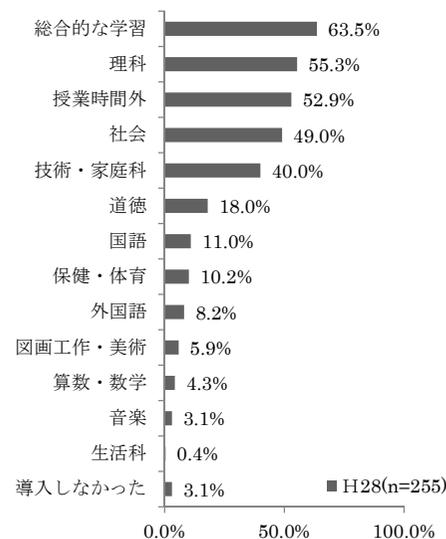
【小学校】



【高等学校】



【中学校】

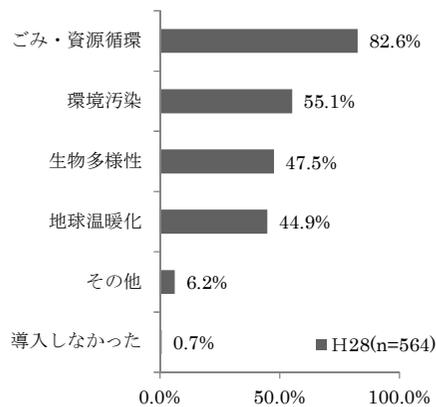


【特別支援学校】

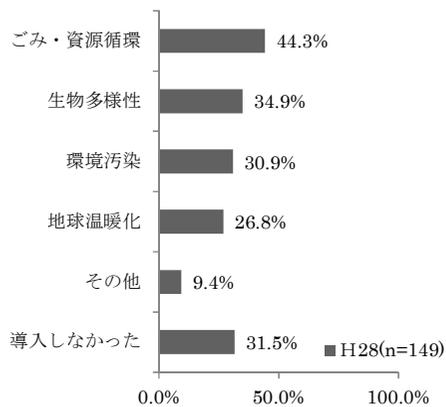


問4 総合的な学習でどのような環境の視点を導入しましたか。

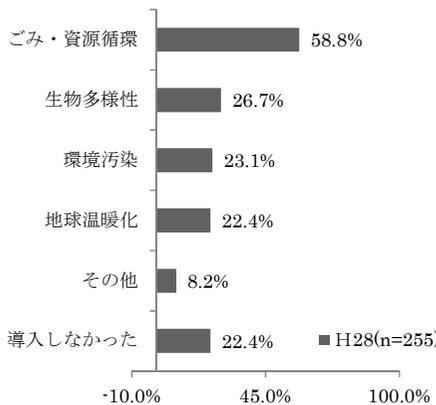
【小学校】



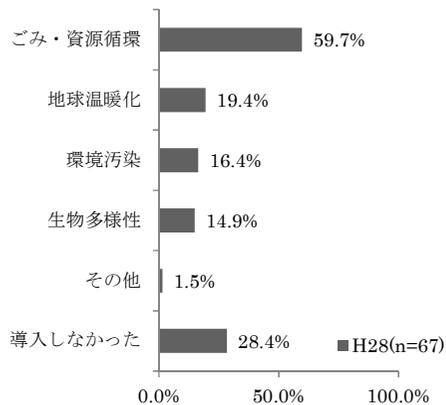
【高等学校】



【中学校】

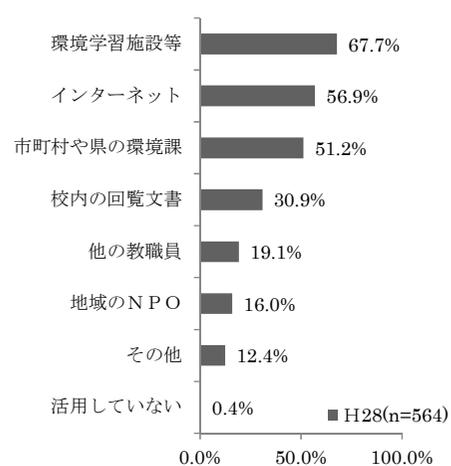


【特別支援学校】

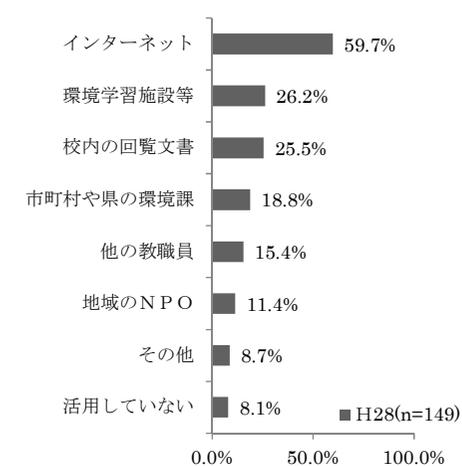


問5 環境学習の情報収集にどのような情報源を活用しましたか。

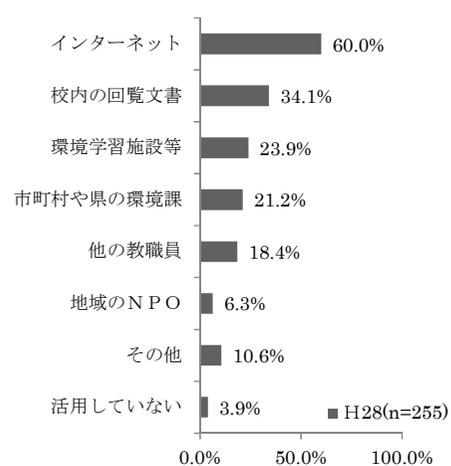
【小学校】



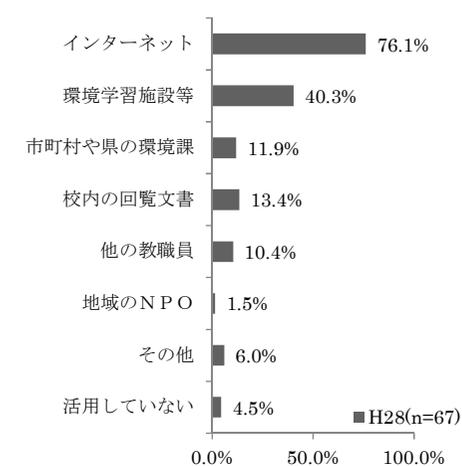
【高等学校】



【中学校】

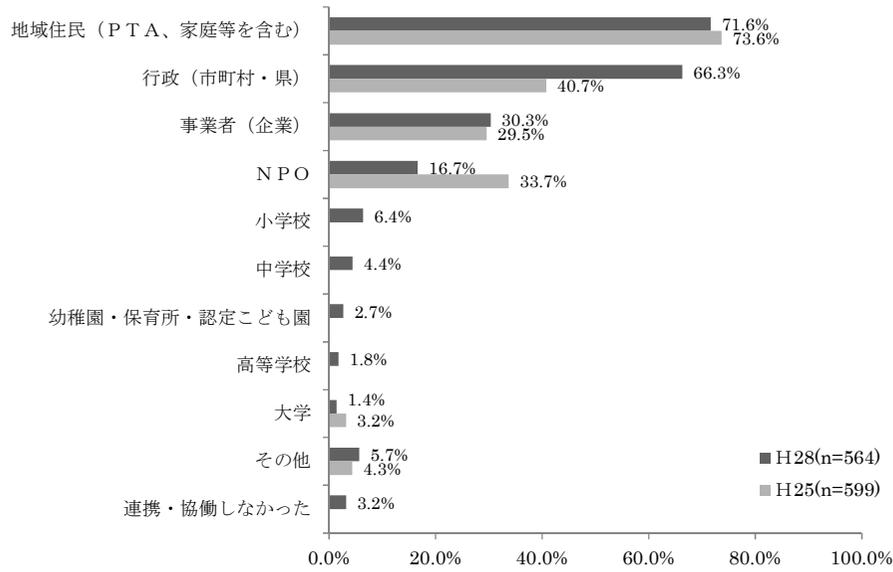


【特別支援学校】

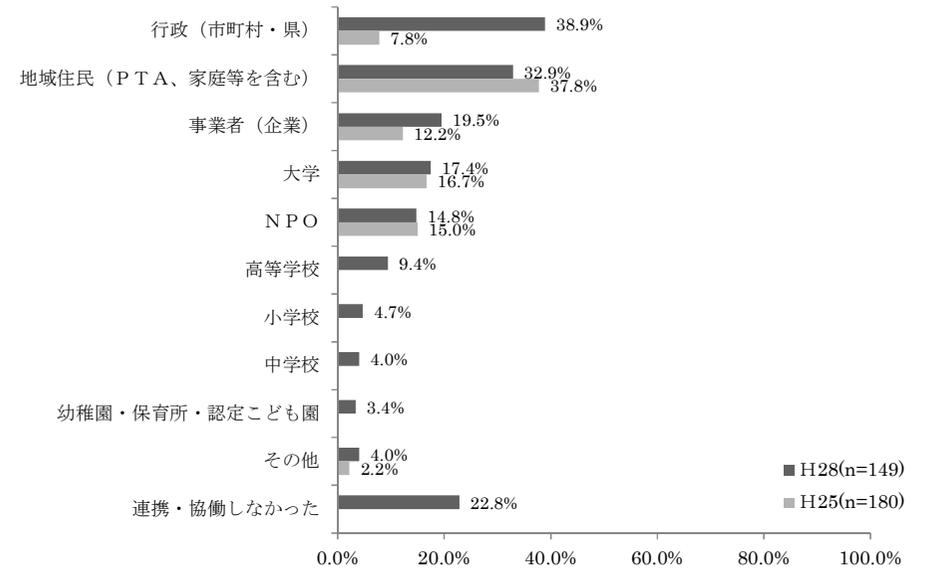


問6 どのような主体と連携・協働しましたか。

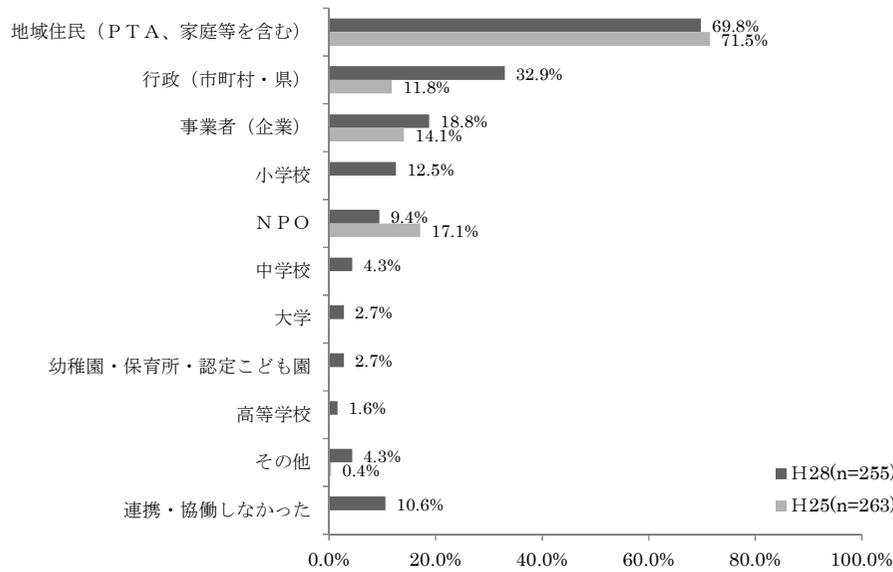
【小学校】



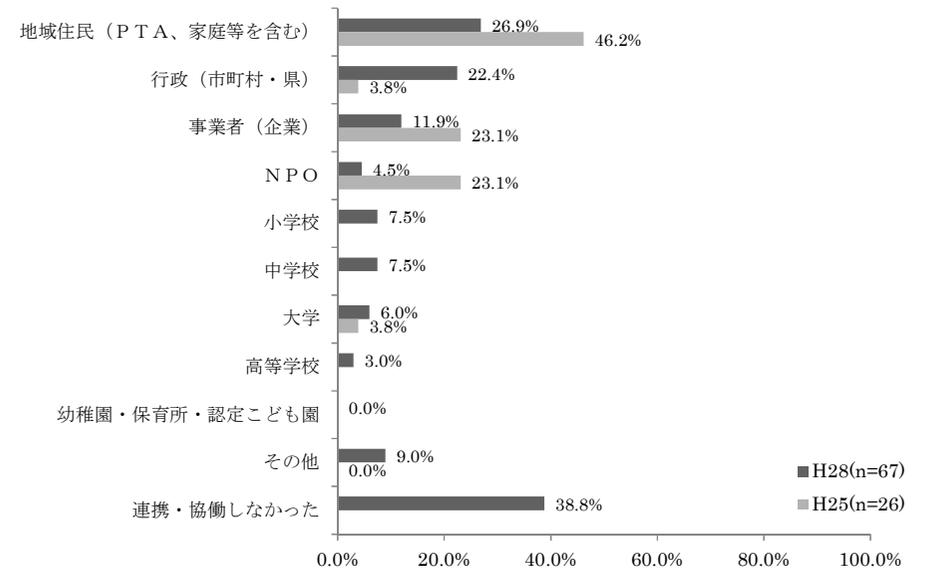
【高等学校】



【中学校】

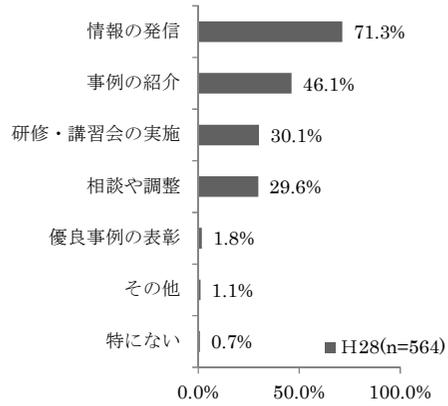


【特別支援学校】

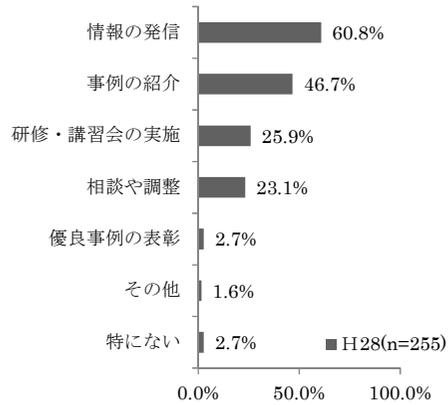


問7 連携・協働を推進するうえで、愛知県が力を入れるべき施策

【小学校】

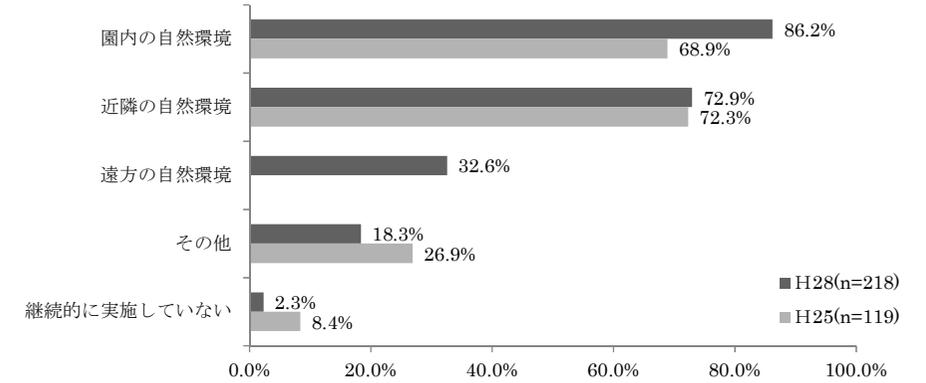


【中学校】



5 幼稚園

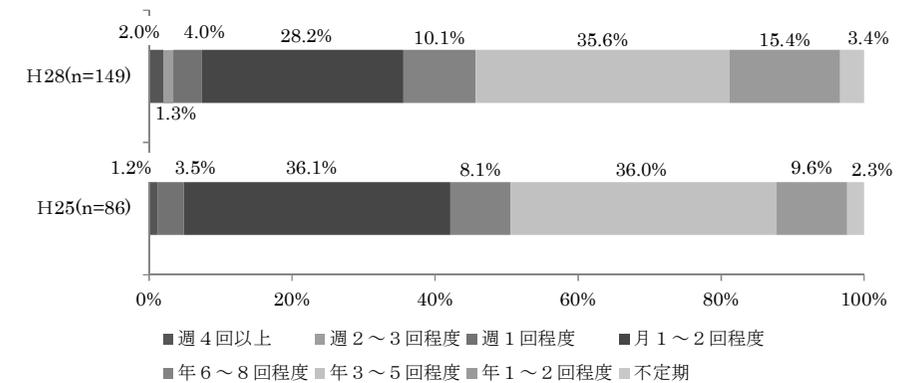
問1 (1) 自然体験をどのような場所で実施しましたか。



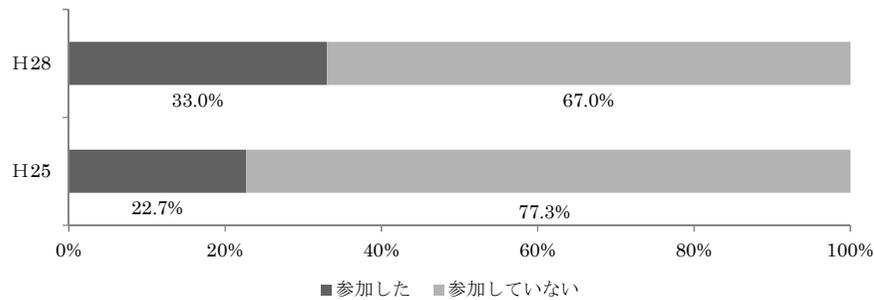
<その他の内容>

- ・大学の敷地内（附属幼稚園）
- ・農場や畑での収穫体験
- ・近くの牧場、移動動物園
- ・通園路の自然

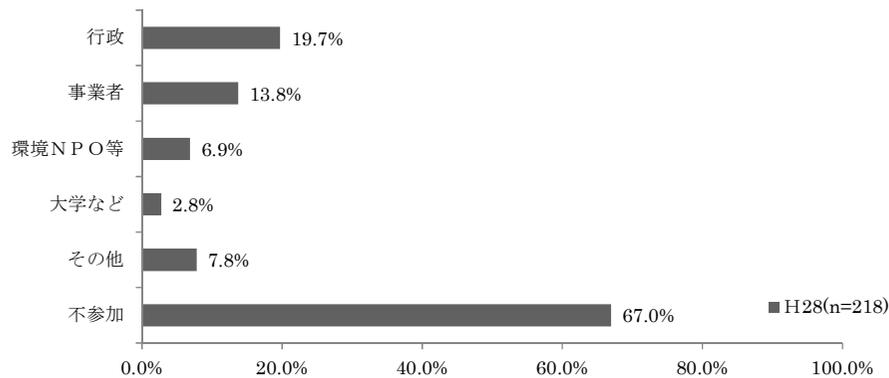
(2) 近隣の自然での実施頻度（回答数 149 件）



問2 環境教育や自然体験に関する研修に参加しましたか。



【参加した研修の実施者】



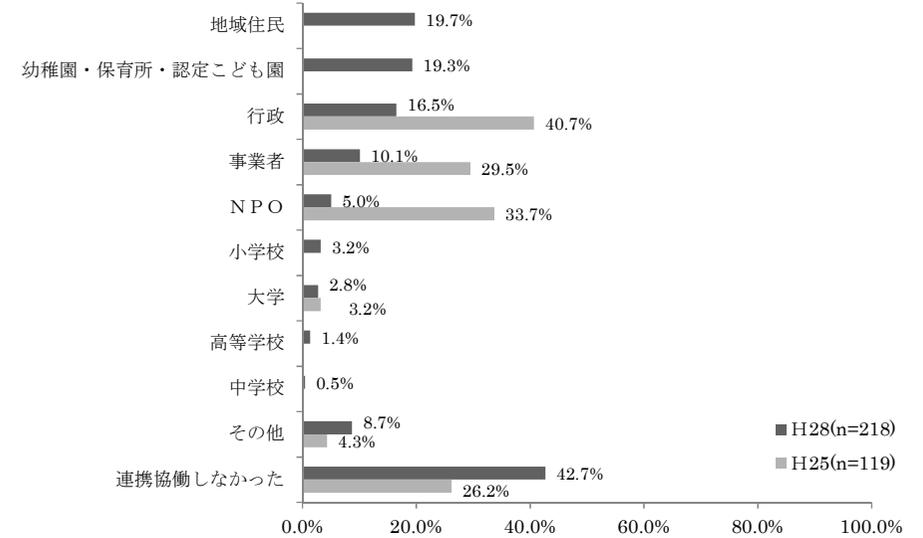
<その他の内容>

- ・愛知県私立幼稚園連盟
- ・ライオンズクラブ
- ・地域の公園での花のアレンジ講習

<参加しなかった理由>

- ・研修会の情報を取得していない
- ・必要性を感じないため
- ・自園の取り組み活動に満足していたため
- ・多領域の研修に参加しており余裕がないため

問3 自然体験を実施する際、どのような主体と連携して実施しましたか。



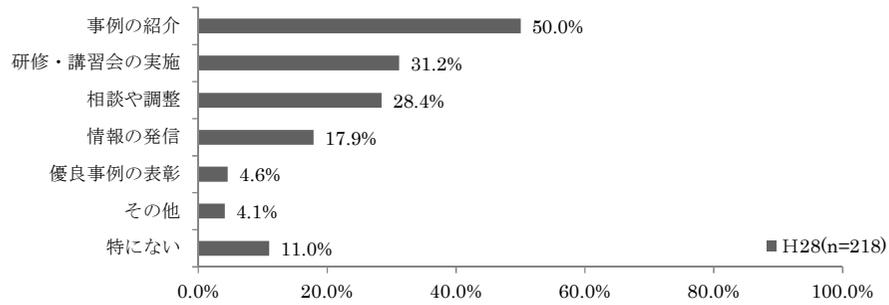
<その他の内容>

- ・日本ハンギングバスケット協会
- ・専門学校
- ・名古屋市民御岳休暇村
- ・農協、地域の農家

<参加しなかった理由>

- ・研修会の情報を取得していない
- ・必要性を感じないため
- ・自園の取り組み活動に満足していたため
- ・多領域の研修に参加しており余裕がないため

問4 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策

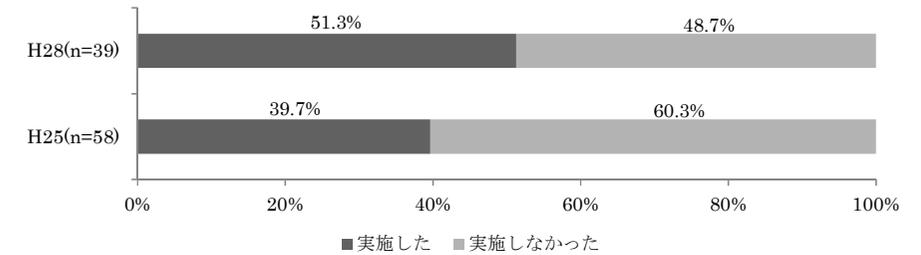


<その他の内容>

- ・紙芝居 DVD
- ・補助金等

6 大学

問1 環境保全・環境教育やESDに関する研究や講座、イベント等を実施しましたか。

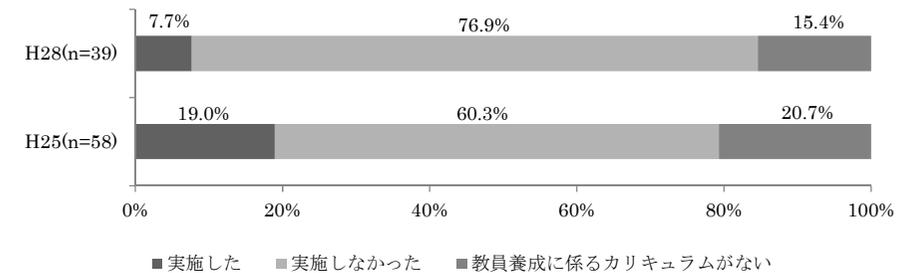


<実施しなかった理由>

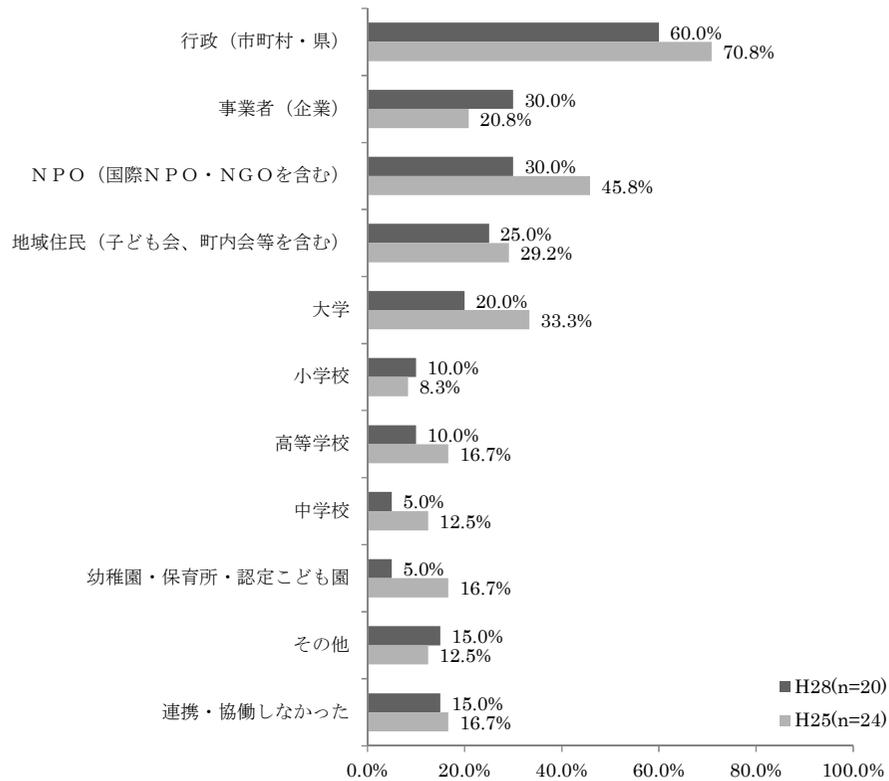
- ・教員個人としては研究等しているが、大学としては実施していない。
- ・実施するための準備がまだ整っていないため
- ・地域との連携を図り、学生と共に進めていく予定
- ・環境に関する専任教員が不在のため
- ・

問2 環境に関する研究・講座・イベントの内容（省略）

問3 教員養成カリキュラムにおいて、環境教育の指導方法を教授するような授業を実施しましたか。



問4 環境保全活動や環境教育を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。



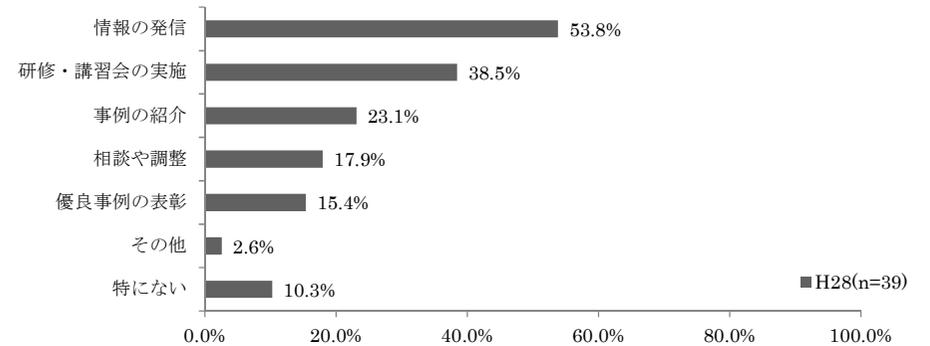
<その他の内容>

- ・博物館
- ・国連食糧農業機関

<連携・協働しなかった理由>

- ・本学の授業として行ったため
- ・本学学生に対する教育・研究を目的としているため。

問5 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策

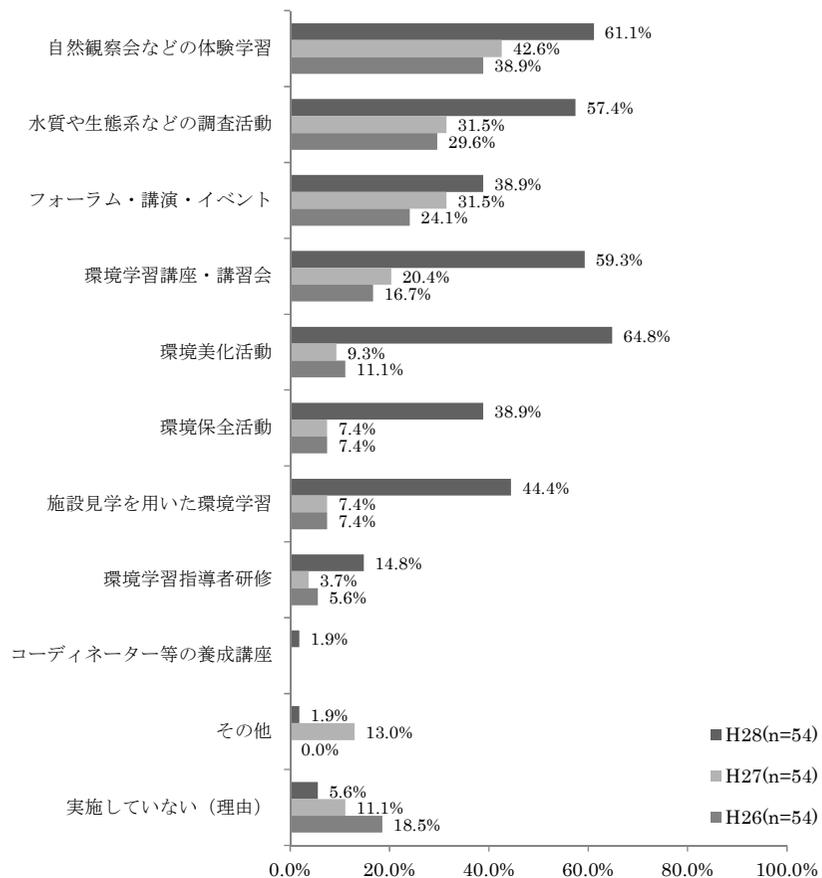


<その他の内容>

- ・研究助成の設立

7 市町村

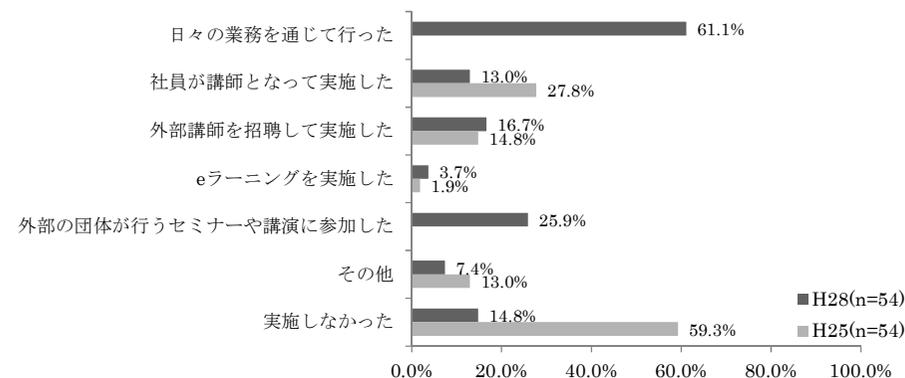
問1 どのような環境学習や指導者の養成を実施しましたか。



<実施しなかった理由>

- ・人員不足

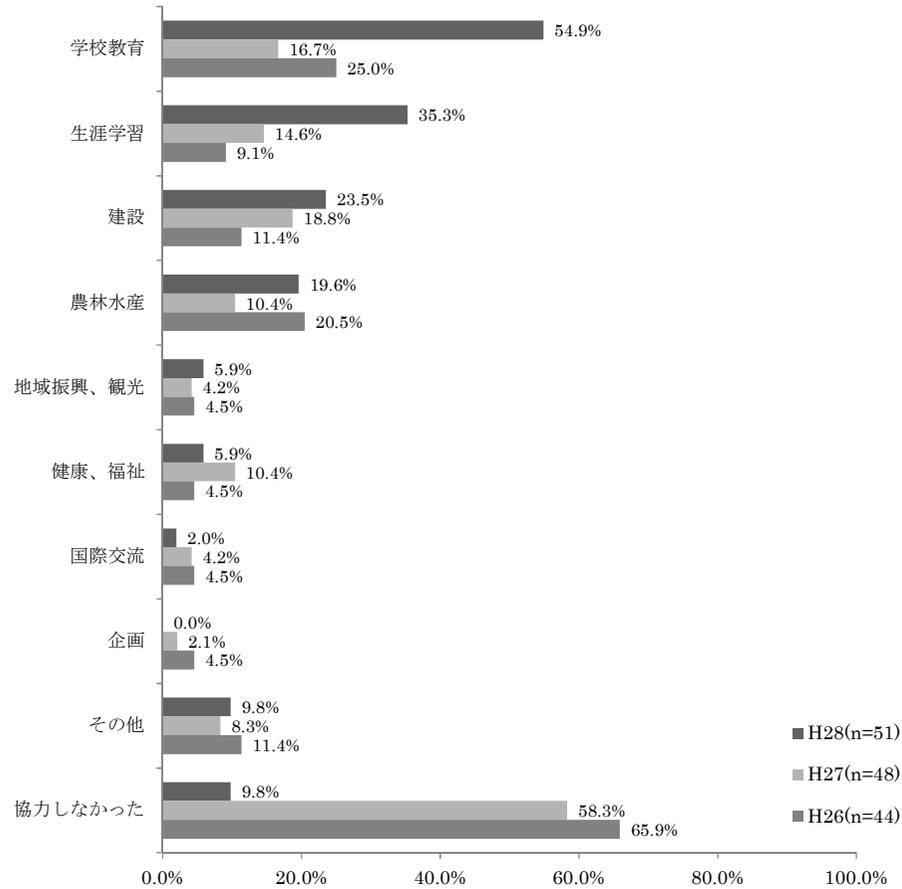
問2 職員に対してどのように環境学習を実施しましたか。



<実施しなかった理由>

- ・職員意識が伴わない
- ・職員向けに行う計画がないため
- ・具体的な学習内容に関して未熟であり、どのように進めるべきかが不明瞭であった。
- ・知識・人員不足のため
- ・体制が確立していないため。

問3 環境学習を実施する際、どのような部局と協力しましたか



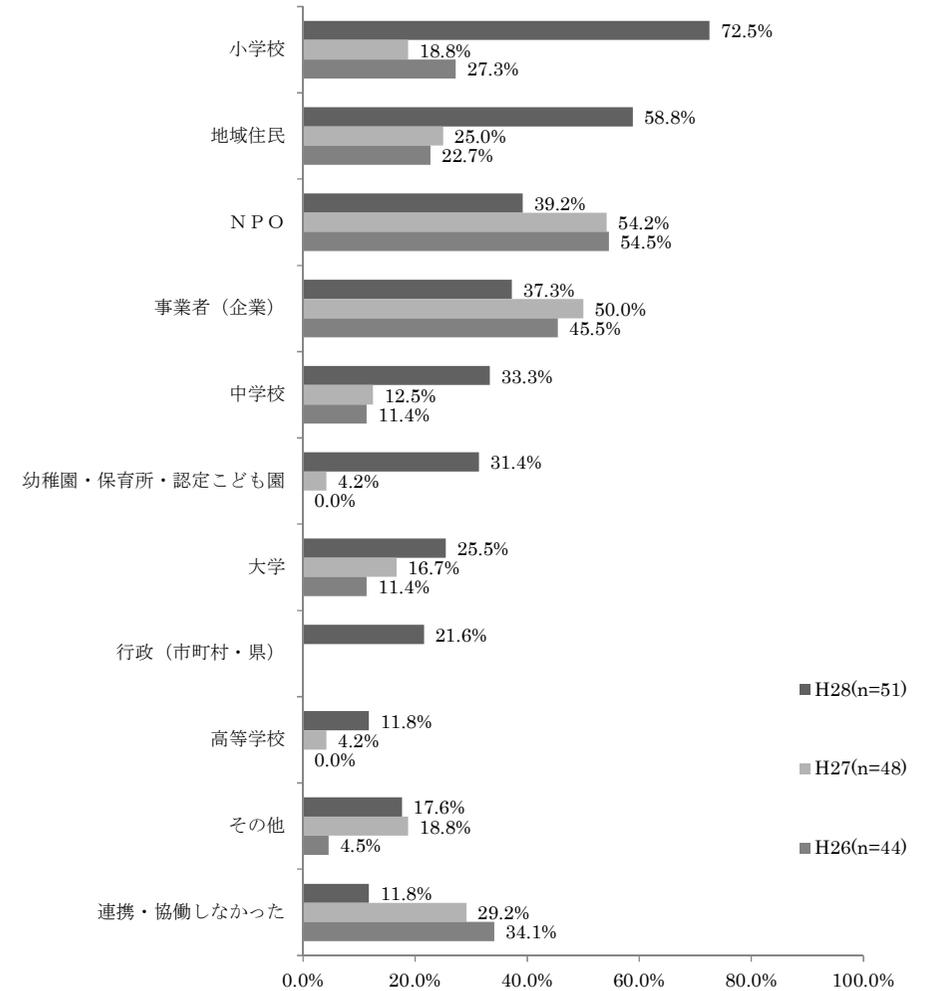
<その他の内容>

- ・上下水道を所管する部局

<協力しなかった理由>

- ・予算時点での話し合いができなかったため
- ・何年も継続している事業であり、NPO や学校と連絡が取れているため

問4 どのような主体と連携・協働して環境学習を実施しましたか。



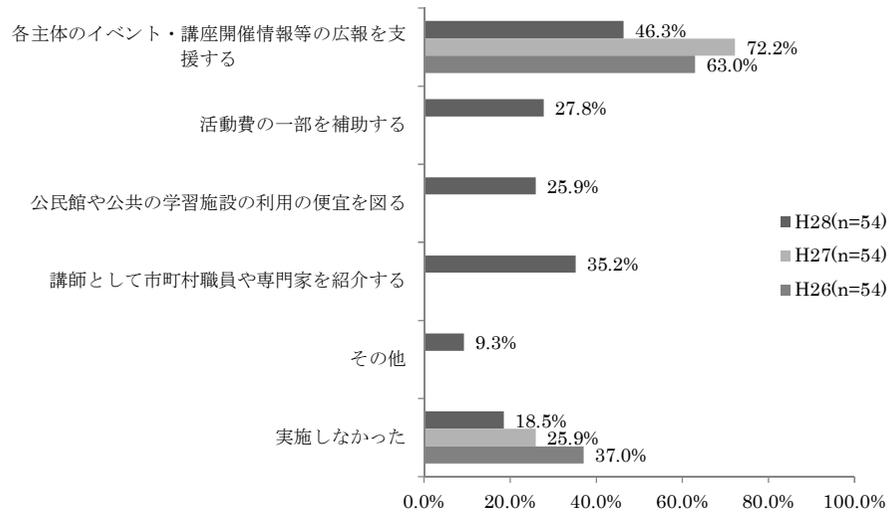
<その他の内容>

- ・市民団体
- ・地元消防団
- ・環境ボランティア団体

<連携・協働しなかった理由>

- ・施設での受け身の体制になっている
- ・人員不足

問5 NPOや事業者が実施する環境学習についてどのような支援をしましたか。



<その他の内容>

- ・水生生物調査に必要な物品の貸出
 - ・教職員を対象に環境問題全般に関する講座を開催
 - ・学習支援用バス等の手配
- <実施しなかった理由>
- ・今後実施を検討していきたい
 - ・詳細を把握していないため

問6 環境学習に関する計画を策定しましたか。

